

■□要旨■□

1. 豊岡市の3つの戦略

「小さな世界都市を目指す」

その実現のためには3つの戦略を実行する。

- ①受け継いできた大切なものを、守り育て引き継ぐ。
- ②環境都市豊岡エコバレーを実現する。
- ③情報発信戦略

2. 3つの戦略 その①

「穏やかさと安らぎに満ちた街づくり」の戦略

⇒保全のために法的な網をかける検討中

具体例：城崎温泉の街づくり(木造3階建ての街並み・街全体が一つの旅館)等

3. 3つの戦略 その②

「地球温暖化対策・生物多様性の保全」の戦略

⇒環境都市になれば「儲ける」こともできる

具体例：地元企業の太陽電池の採用、コウノトリの保護・繁殖等

4. コウノトリと豊岡市

1965年 人工飼育の開始

1989年 初めての雛の誕生

1999年 コウノトリの郷公園・研究所・文化館の開設

2005年 国際会議の開催・巣立ち(歴史的瞬間)

<豊岡市がコウノトリを空に帰そうとする3つの狙い>

□人間とコウノトリとの約束

□絶滅寸前の野生生物の保護に関しての世界的貢献

□コウノトリも住める環境＝豊かな自然環境・文化環境＝人間にとって素晴らしい環境(最大の狙い)

5. 新たな戦略の打ち出し

「環境経済戦略」＝環境を良くする行動によって、経済が活性化する(儲かる)

⇒「持続可能」で、「自立」の基盤で、「誇り」を持ってもらうために

具体例：廃タイヤ利用の制震技術、無農薬米等

6. 3つの戦略 その③

「情報発信」の戦略

⇒どんなに素晴らしくても、知られなければ存在しないのと同じ

具体例：COP10、教科書、機内誌、CATV等

■□今回の学び ひとことという■□

企業経営も地方自治も変わらない。「改革」するためには、分かりやすいゴールの明示と、それに向けた変化を見せてあげることが必要。そこからフォロワーが現れ、持続する力が生まれる。



■□感想■□

中貝市長の行動力と、人に伝える話し方には感銘を受けました。

また地方自治の世界は最も変化を好まないと考えていましたが、リーダーの市民を巻き込んだ活動でここまで変化が生じたことに、感心するとともに「面白い仕事かも。」とも感じました。

個人的には、牛のポスターの話をするおばあちゃんが、

「あの頃は、心が本当に豊かでした」とおっしゃったとのお話が焼き付いて離れません。